

まだまだあふよ!

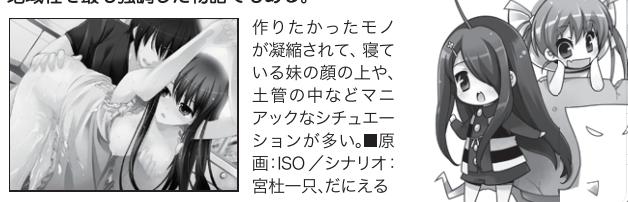
シリーズ作品

# 一本紹介

CLIC CLACは「田舎でシよう！」だけじゃない！人気声優による童話パロディCD「世界めいわく劇場」も一挙に紹介しちゃうぞ。

## 田舎でシよう！鳥取編 ～ボクと妹たちの夏休み～

何年も前に家を出た兄が夏休みを利用して故郷に帰ってくることになった。幼い頃から兄を想う姉・優希。小悪魔ちっくな魅力で兄を誘惑する妹・瑞希。田舎に生きる少女たちの淡い想いを描く。「田舎でシよう！」シリーズ記念すべき第一弾。田舎という隔離された地域性を最も強調した物語でもある。



作りたかったモノが凝縮されて、寝ている妹の顔の上や、土管の中などマニアックなシチュエーションが多い。■原画:ISO / シナリオ:宮村一矢、だにえる

## 田舎でシよう！2 博多編 ～ボクと妹たちの花嫁修業～

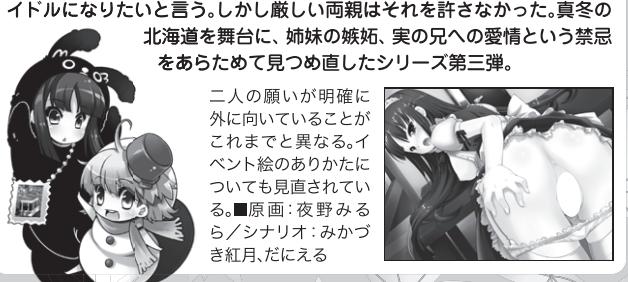
父親から望まぬ結婚を強要された姉・恋春。しかし彼女は誰にも言えぬ想いを抱いていた。天才少女と呼ばれ周囲から孤立してしまった妹・涼春は、優秀であるがゆえに兄姉のみに自分の居場所を求めてしまう。二人を苦しみから救うべく兄は奮闘する。天然系と小悪魔クール系という趣味を反映させたシリーズ第二弾。



妹が姉にローターをつけて虐めたり、ちびキャラが登場したりとギヤク色が強い作品。■原画:夜野みるら、茜屋／シナリオ:あすか正太、だにえる

## 田舎でシよう！北海道編 ～ボクと妹たちの夢日記～

毎年やってくる妹たちからの年末帰省を促すメール。だがいつもと様子が違った。姉・雪姫は可愛い物を集めたお店を作りたいと言い、妹・萌雪はアイドルになりたいと言う。しかし厳しい両親はそれを許さなかった。真冬の北海道を舞台に、姉妹の嫉妬、実の兄への愛情という禁忌をあらためて見つめ直したシリーズ第三弾。



二人の願いが明確に外に向いていることがこれまでと異なる。イベント絵のありかたについても見直されている。■原画:夜野みるら／シナリオ:みかづき紅月、だにえる

2010年夏は  
世界めいわく劇場  
最新作も発表

2010年夏は「田舎でシよう！京都編」と「世界めいわく劇場」第四弾が同時リリースとなります。「めいわく劇場」は2009年冬を予定していたのですが諸般の事情で延期となりました。楽しみにしてくださった皆さん申し訳ありません。ところで友人に「京都と言ったらお寺じゃないの？」と言われました(笑)。神社も有名なところは沢山ありますけど、話題にあがるのはたいてい寺なんです。だからこそ神社の地位向上を目指す妹たちの奮戦が表現できるのではないかと思います。前向きな少女たちが活躍する京都編を楽しみにしてください！(ダダ)



CLIC CLAC 2010年新作情報早だし！

おまたせ！  
シリーズ最新作!!  
京都編

# よう!

～ボクと妹たちの巫女日和～

「方言萌え」という新ジャンルを確立した「田舎でシよう！」シリーズの最新作が発表された。今回は古都・京都が舞台ということで一体どんな作品になるのか紹介していこう！



CLIC CLAC 2010年8月発売予定 2,000円  
方言 姉 巫女 スクール水着  
原画:芦俊、シナリオ:みかづき紅月、プロデューサー:ダダ、音楽:はちみれもん

Win

Windows XP/Vista

最新作は「かわいい方言ランキング」1位の「京都弁」でシよう！

普段から標準語を使う人も実家に電話すると自然に地元の言葉が出てしまった経験はないだろうか。旅先で地元の言葉に触れたときやかな気分になったことはないだろうか。その土地独特の言葉・方言は人々の心を和ませ、癒してくれる。そんな「方言」に注目した作品が今回紹介する「田舎でシよう！」シリーズだ。四作目となる今回は古都・京都を舞台に、二人の妹たちとの純愛ストーリーが描かれる。京都弁といえば“はんなり”と表現されるように物腰柔らかで人気が高く、「かわいい方言ランキング」でも1位に輝いている。主人公の実家は神社という設定なので妹たちの可愛らしい巫女装束も楽しめそうだ！ 原画を担当するのは切ない表情に定評のある芦俊氏（「町ぐるみの罠～白濁にまみれた肢体～」ほか）。シナリオは前作に続き、みかづき紅月氏（「おまもりひまり」ノベルほか）が担当。

# 最田新作でシよう！ 京都弁